

**GMO** フィナンシャルHD  
**個人投資家向け会社説明会**

STOCK CODE:7177

2019年12月12日

1. 当社概要
2. 業績
3. 中期営業利益目標
4. 実現に向けた作戦
5. 成長戦略
6. 株主還元

# 1. 当社概要

設立	2012年1月
代表執行役社長 グループCEO	鬼頭 弘泰
資本金※1	685百万円
連結従業員数※1	366名 (国内254名)
連結子会社数	10社 (国内4社・海外6社)
主な株主	GMOインターネット株式会社 63.05%※1
時価総額※2	721億円

※1 2019年9月30日現在 ※2 時価総額は2019年12月5日終値 (613円) で計算

※3 2019年7月-9月の営業利益、各社公表資料より当社作成 ※4 Finance Magnates調べ (2012年-2018年)

## 証券・FX事業

**GMOクリック証券**

- ・ 2019年7-9月営業利益  
国内ネット証券No.2※3
- ・ FX取引高7年連続世界No.1※4

**FXプライム by GMO** 等

## 仮想通貨事業

**GMOコイン**

- ・ 国内シェアNo.2※5

※5 売買代金シェア、当社調べ

# 金融サービスをもっとリーズナブルに もっと楽しく自由に

旧来の証券業界における課題

~~高い取引コスト~~ と ~~使いにくいツール~~

「安さ」と「使いやすさ」の両立

# テクノロジーの真の価値は お客様の課題を解決すること

- 約半数がシステムエンジニア※
- システム内製化、業務の自動化を推進

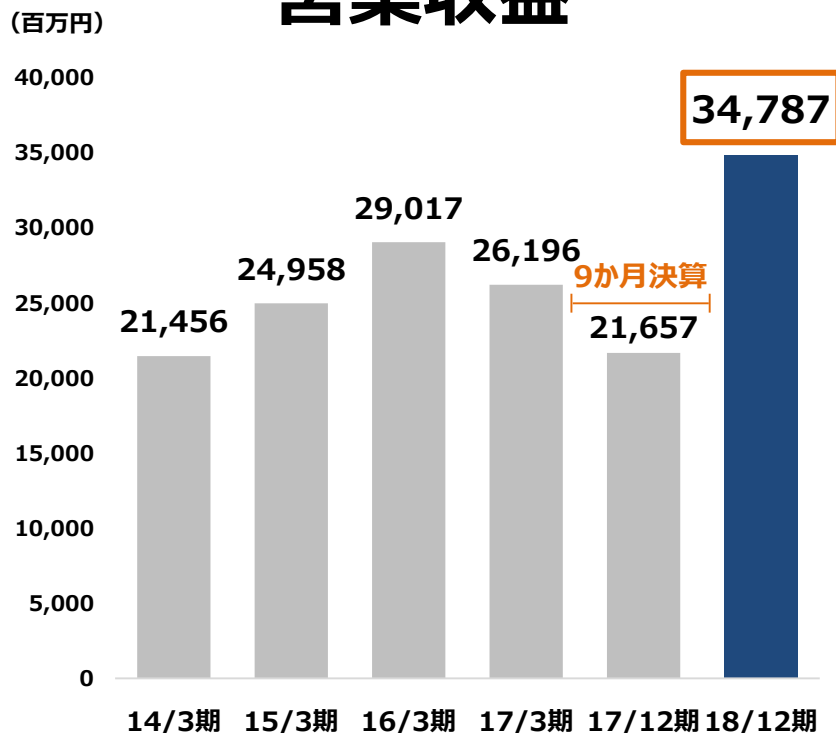
**FX・証券  
仮想通貨**

**業界最安値水準**

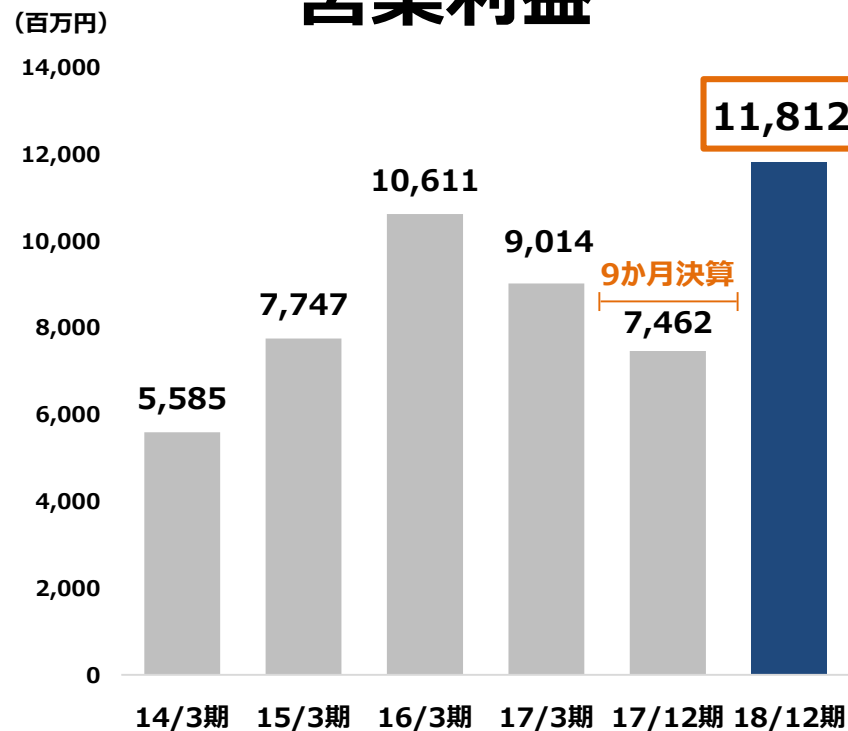
※ 国内社員数

## 2. 業績

## 営業収益



## 営業利益



※ 2017年12月期より決算日を毎年3月31日から12月31日に変更。決算期変更の経過期間となる2017年12月期は、2017年4月1日から2017年12月31日までの9か月決算となります。



証券・FX事業 86.3%

セグメント営業収益

**300.3** 億円

GMOクリック証券

FXプライム by GMO

等

仮想通貨事業 11.6%

セグメント営業収益

**40.3** 億円

GMOコイン

その他

2018年12月期  
連結営業収益

**347.8** 億円

- ▶ 前年同期比：年初の相場急落の影響が残るものの、Q2以降は堅調に推移

	2018年1-9月	2019年1-9月	増減率
営業収益	262.3 億円	249.1 億円	△5.0 %
営業利益	92.6 億円	76.2 億円	△17.7 %

- ▶ 前四半期比：四半期ベースで**過去最高の営業収益**を記録

	2019年4-6月	2019年7-9月	増減率
営業収益	89.6 億円	 90.4 億円	0.9 %
営業利益	29.3 億円	33.4 億円	13.9 %

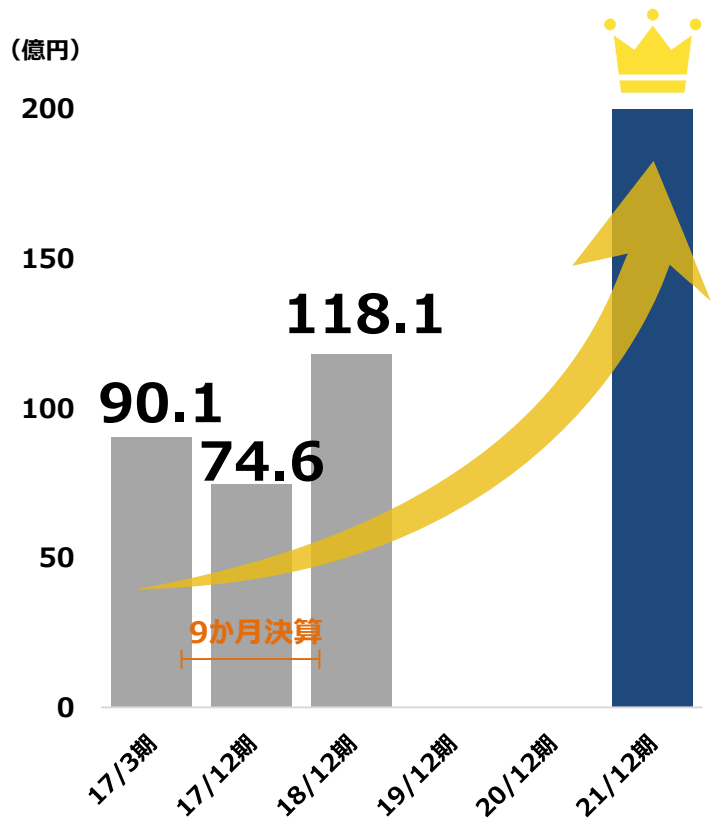
## 営業利益

順位	企業	金額
1	SBI証券	88.0億円
2	GMOフィナンシャルHD	33.4億円
3	楽天証券	30.0億円
4	松井証券	20.7億円
5	マネックスグループ <sup>o</sup>	9.5億円
6	カブドットコム証券	5.1億円

※ 各社公表資料より当社作成

### 3. 中期営業利益目標

# 2021年12月期 営業利益目標

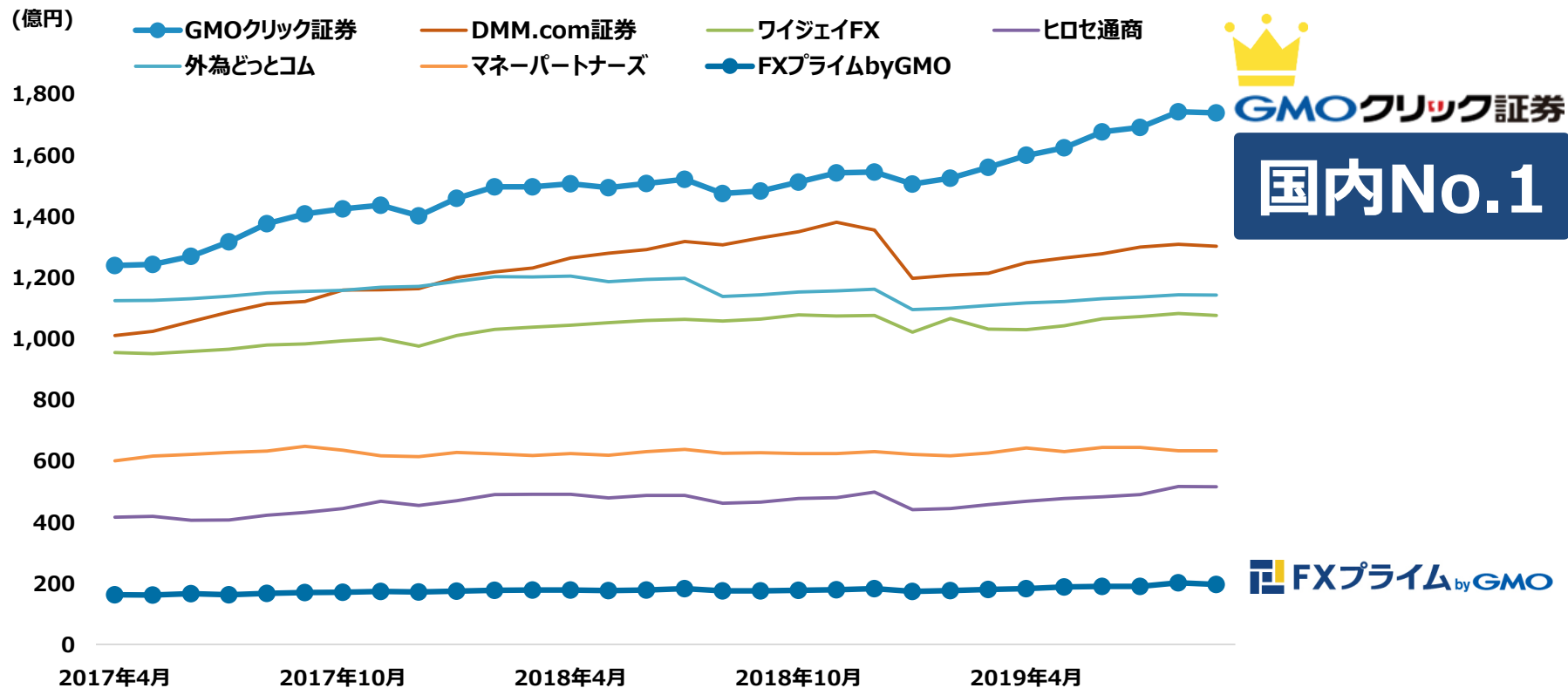


200  
億円

※ 2017年12月期より決算日を毎年3月31日から12月31日に変更。決算期変更の経過期間となる2017年12月期は、2017年4月1日から2017年12月31日までの9か月決算となります。

## 4. 実現に向けた作戦 – FXとCFDの強化 –

# FX | 預り証拠金残高



※ 矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング(2016年4月～2019年9月)より当社作成

# FX取引高 7年連続世界No.1

## 世界上位5社の2018年FX取引高

GMOクリック証券



国内A社

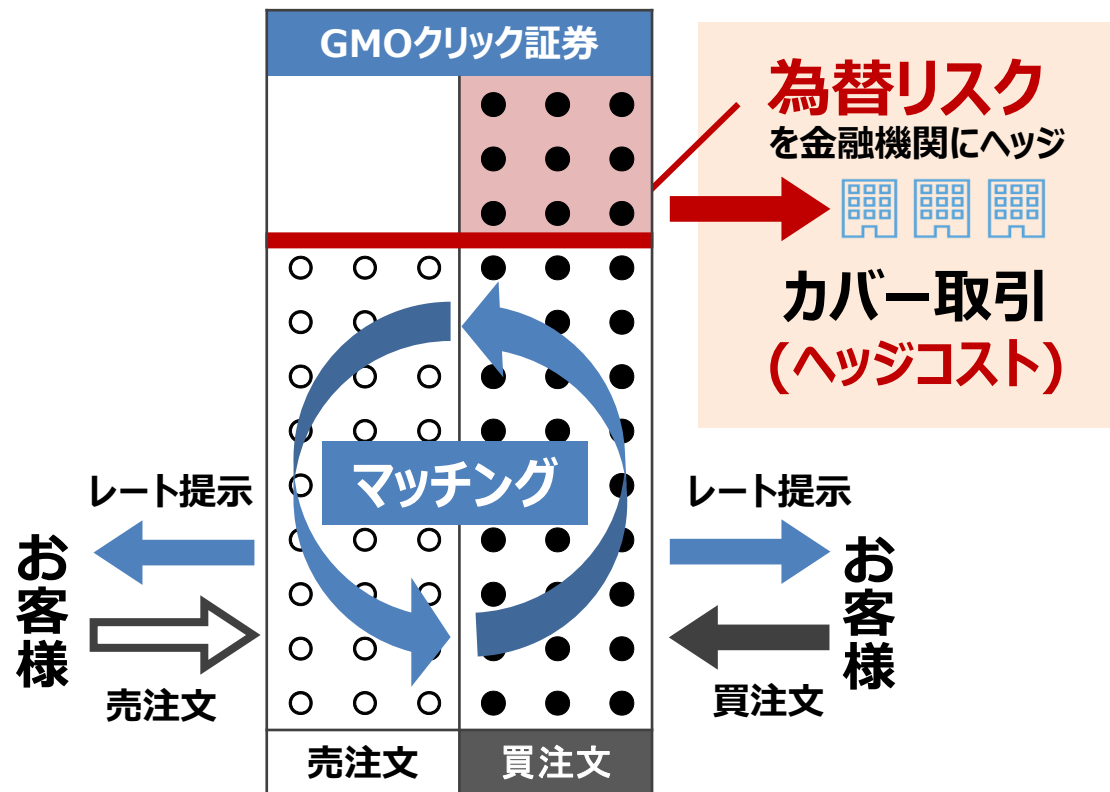
海外B社

国内C社

海外D社

※ Finance Magnates「2018年 年間FX取引高調査報告書」





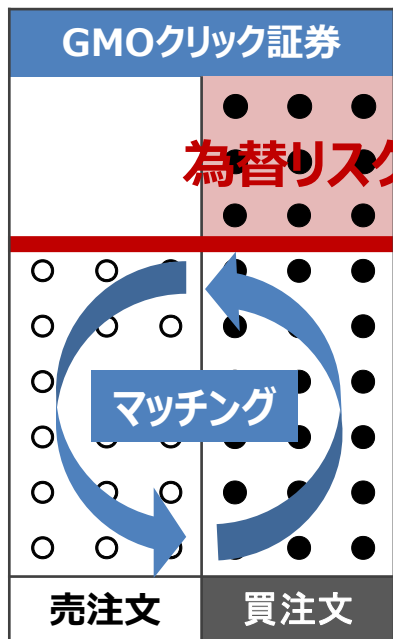
(上記は概念図)

## 収益改善のポイント

# 為替リスクの ヘッジ方法を改善

- ① タイミング・数量の最適化
- ② ヘッジ先の多様化

# －ヘッジの最適化－ AI・ビッグデータ解析の活用



超近未来  
レート予測

ヘッジ

そのまま

(例)

100円→101円に上昇と予測  
買注文を保有したままがお得！

従前

許容値を超えたらヘッジ

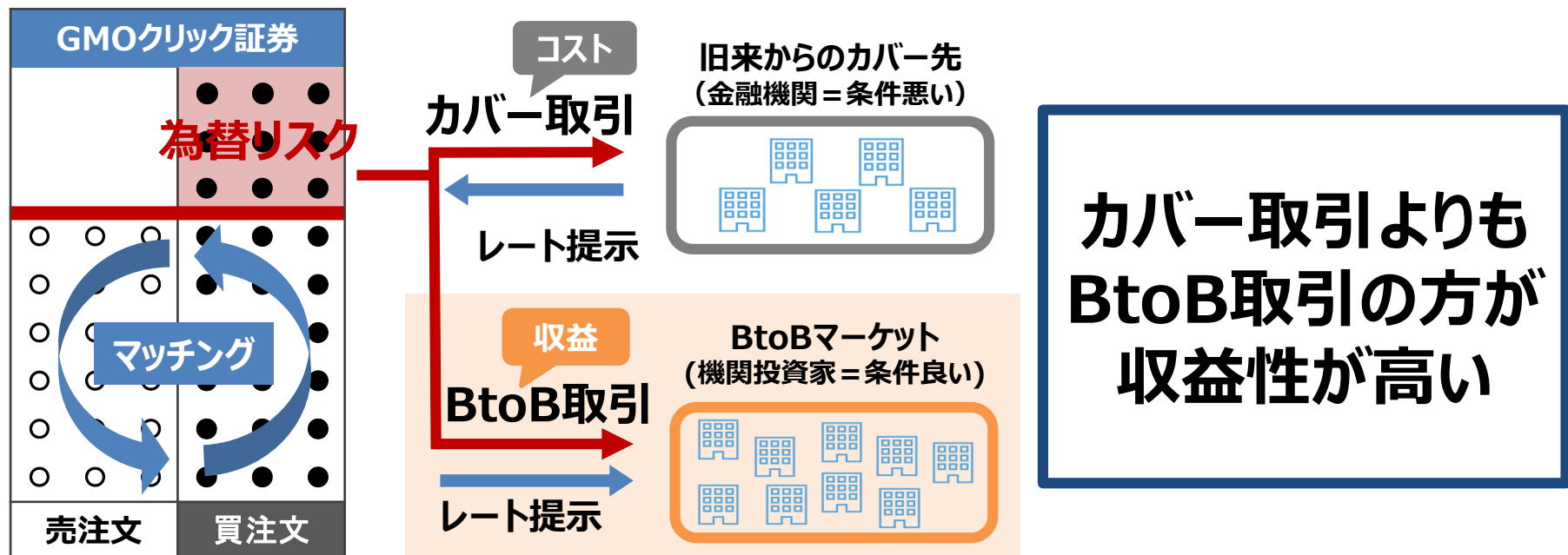
改良後

超近未来レートを予測し、**ヘッジ要否**を判断

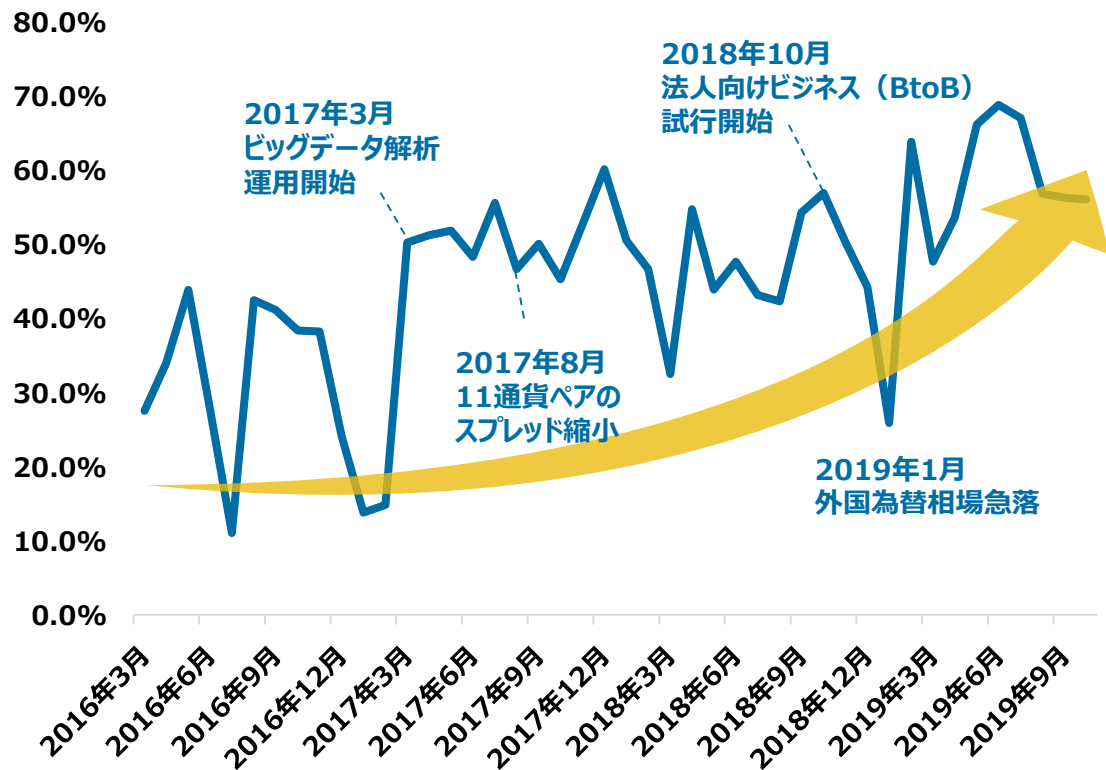
## ■プロジェクトチーム

- ・ データサイエンティスト、アーキテクトチーム 6名  
(JAXA、理化学研究所出身者等のメンバーで構成)
- ・ 機械学習、Hadoop/Sparkエンジニア 6名

# －ヘッジの多様化－ 法人向けビジネス（BtoB）参入



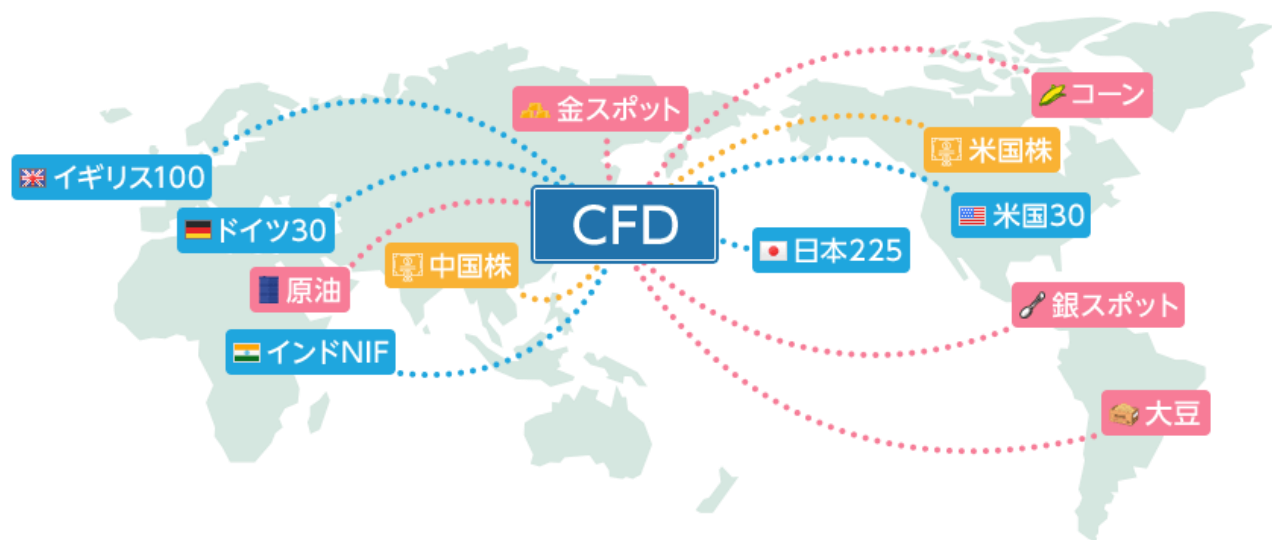
## 全通貨ペア



収益率は  
高水準で推移

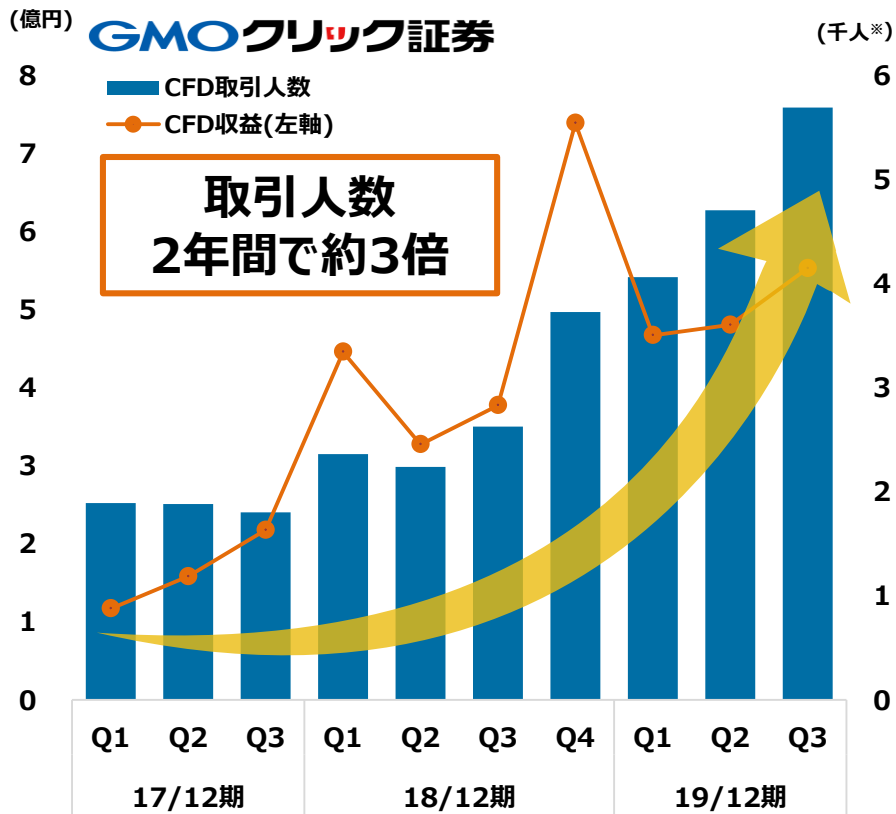
# CFDとは「投資のコンビニ」

世界中のあらゆる資産に投資できる優れた金融商品  
商品認知度が低いことが課題



## 主なポイント

1. ほぼ24時間取引可能  
(銘柄による)
2. 世界中に投資できる
3. 少ない資金から取引可能
4. 売りから入ることが可能
5. 取引手数料0円



※ 1日当たりの平均取引人数

**取引人数を  
今後2年間で2倍に！**

**プロモーション強化し、  
さらに認知度向上**

# 5. 成長戦略

# インターネット総合金融グループ

成長分野  
CFD

新規事業  
仮想通貨

海外事業拡大  
タイ王国

FX事業の強化



# GMOコイン

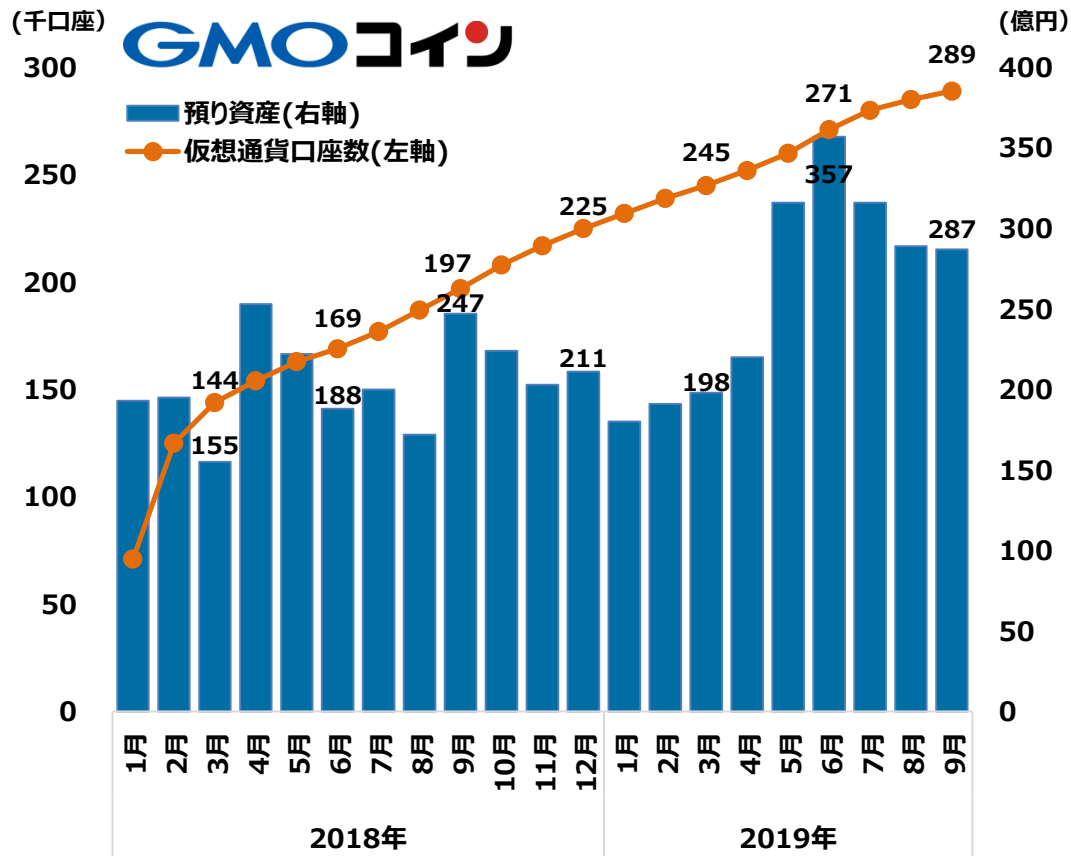
(設立：2016年10月)



※2019年12月4日（水）より、販売所サービスにて新たにネム、ステラルーメンの取り扱いを開始

## 堅牢なセキュリティと管理体制 「安心No.1」を目指す 仮想通貨交換業者





## 口座数・預り資産 堅調に推移

国内シェアNo.2※

※ 売買代金シェア、当社調べ

## 香港・英国・タイ王国に拠点を置き、 グローバルに事業を展開

  
**英国・ロンドン**  
2015年3月～  
FX/CFD



2012年8月～  
FX/CFD

**香港**



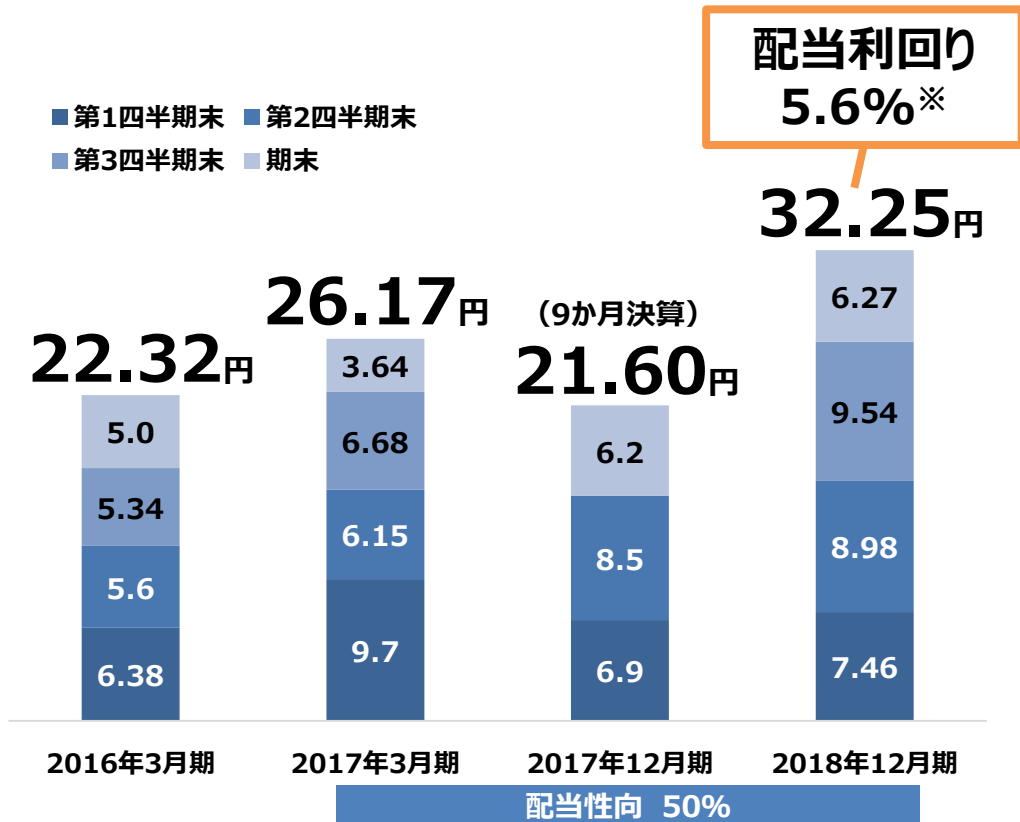
  
**東京**

**タイ王国・バンコク**  
2017年11月～  
ネット証券



## 6. 株主還元

**目標**  
**連結配当性向**  
**50%**  
 (年4回配当)



※ 2018年12月末の終値567円を使用して算出  
(2019年12月5日終値:613円)

**GMOクリック証券** でのお取引における各種キャッシュバック！

1. **GMOフィナンシャルHD株式買付手数料（最大10,000円）**
  2. **いずれかのコースを選択（条件に応じて最大15,000円）**
    - A) **株式等の売買手数料**
    - B) **FXネオ取引高**
    - C) **証券コネクト口座の平均残高**
- ・ **優待基準日：毎年6月末、12月末**

株主優待の詳細は当社ホームページにてご確認ください。  
<https://www.gmofh.com/ir/stock/benefit.html>

- 2021年12月期営業利益目標**200億円**
- 大手ネット証券の一角。商品・サービスの充実でさらに成長  
FX取引高は、**7年連続で世界No.1**
- 主力のFXをさらに強化  
**『AI・ビッグデータ』**と**『法人向けビジネス』**で収益改善を実現
- 成長分野の**CFD**を**収益の柱へ育成**  
仮想通貨などの**新規事業への投資**、**海外事業の拡大**により  
により持続的成長を図る
- 連結配当性向の目標は**50%**（年4回配当）

# 付録



# GMOインターネットグループにおける位置づけ

当社はGMOインターネットグループの「インターネット金融事業」、  
仮想通貨事業のうち「仮想通貨交換事業」を統括



## テクノロジーを活用し、安くて使いやすいサービスを強みに成長

**2005年10月**

GMOインターネット証券  
(現GMOクリック証券)設立



**2006年5月**

オンライン証券取引サービス開始

**2006年10月**

店頭FX取引サービス開始



**2010年4月**

CFD取引サービス  
開始

店頭FX取引高

初めて世界No.1\*を達成



**2012年1月**

当社設立

**2012年8月**

香港子会社で  
FXサービス開始



香港  
進出

**2012年9月**

FXプライム (現FXプライム  
byGMO) 連結子会社化

英国  
進出

**2015年3月**

英国子会社で  
FX・CFDサービス開始



**2015年4月**

当社上場

タイ王国  
進出

**2017年9月**

GMOコイン連結子会社化

**2017年11月**

タイ王国子会社で  
オンライン証券取引  
サービス開始



**2018年7月**

GMOあおぞらネット銀行  
が事業を開始  
同年8月より銀行・証券の  
口座連携サービスを開始

2005 2006

2010

2012

2015

2017







2018

\*Finance Magnates調べ

## 女優・新垣結衣さんをCMキャラクターに起用








# 証券 | 1約定ごとの現物手数料比較※

約定金額	GMO クリック証券	SBI証券	楽天証券	松井証券	野村證券 (オンライン)
5万円	96円	55円	55円	0円	152円
10万円	96円	99円	99円	0円	152円
30万円	 107円	115円	115円	330円	330円
50万円	 265円	275円	275円	550円	524円
100万円	 479円	535円	535円	1,100円	1,048円
150万円	 580円	640円	640円	2,200円	2,095円
3,000万円	 917円	1,013円	1,013円	33,000円	31,429円
3,000万円超	 977円	1,070円	1,070円	33,000円～	41,905円～

※ 株式等売買代金のネット証券上位3社であるSBI証券、楽天証券、松井証券および野村證券について、各社ホームページより当社作成（2019年12月6日現在）

SBI証券はスタンダードプラン、楽天証券は超割コース、松井証券は定額料金体系、野村證券はオンラインサービスの取引手数料を記載（税込）

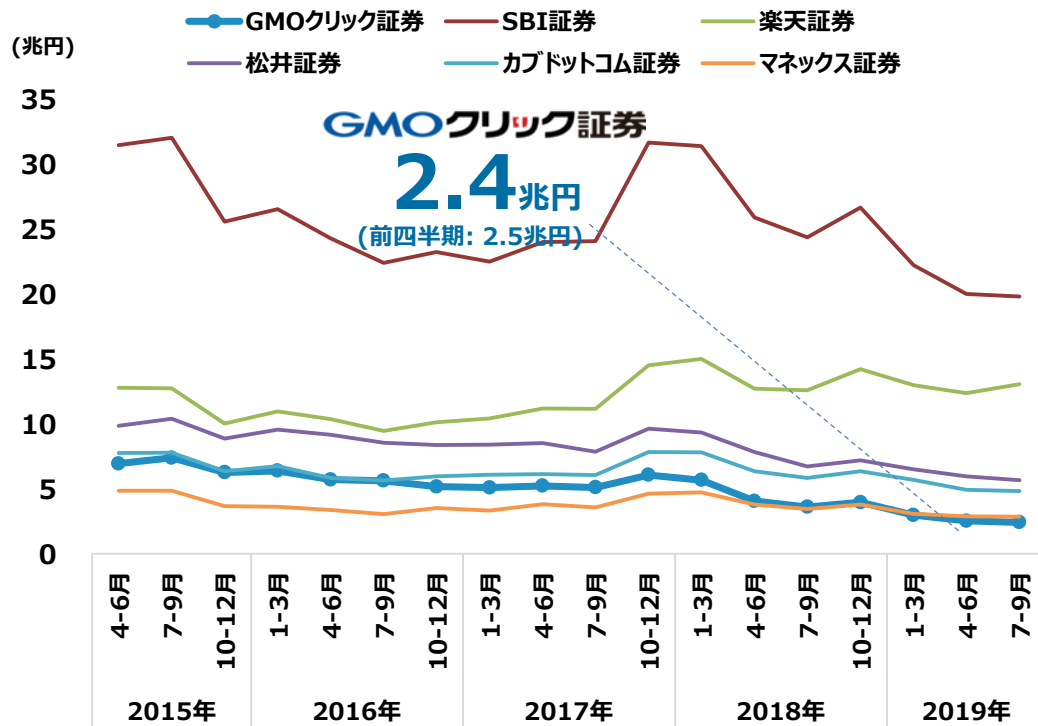
# FX | スプレッド比較表※

通貨ペア	GMO クリック証券	DMM.com 証券	外為 どっとコム	ワイジェイ FX	ヒロセ通商
米ドル/円	 0.2銭	0.2銭	0.2銭	0.2銭	0.3銭
ユーロ/円	 0.5銭	0.5銭	0.5銭	0.5銭	0.5銭
ポンド/円	 1.0銭	1.0銭	1.0銭	1.0銭	1.0銭
豪ドル/円	 0.7銭	0.7銭	0.7銭	0.7銭	0.7銭
NZドル/円	1.2銭	1.2銭	1.2銭	1.2銭	1.0銭
トルコリラ/円	1.7銭	取扱いなし	1.7銭	取扱いなし	1.6銭
南アフリカランド/円	1.0銭	1.0銭	1.0銭	1.3銭	0.9銭
メキシコペソ/円	 0.3銭	取扱いなし	0.3銭	取扱いなし	0.3銭

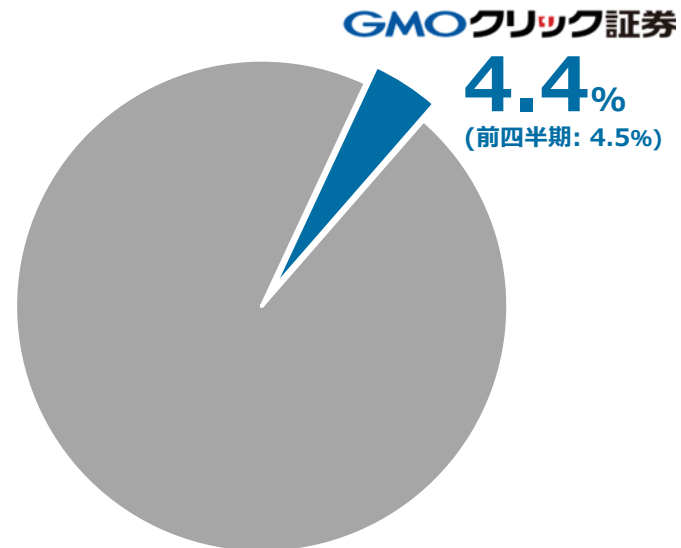
※ FX取引高上位4社について各社ホームページより当社作成（2019年12月6日現在）、各社ともキャンペーンを除く原則固定スプレッドを記載

## 後発でスタートも、ネット証券大手の一角を占める規模に成長

### 主要ネット証券株式等売買代金推移



### 2市場に占める個人株式等委託売買代金シェア (2019年7-9月)



日本取引所グループ、各社公表資料より当社作成  
株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

## 「すべてはお客さまのために。 No.1テクノロジーバンクを目指して」

### 目指す姿

新たなビジネスニーズに対して柔軟、かつ迅速に対応し、  
ニーズに適したサービスを提供する銀行

### 強みと特長

社員4割が技術者で構成、開発体制を内製化

- ・ 業界最安値水準の手数料を提供
- ・ 新サービスの対応スピードや既存サービスの改修でお客様に還元

【具体例】API (Application Programming Interface)

- システム間でやり取りを行うためのデータ形式等を定めたルールのこと  
振入口座（バーチャル口座）機能や総合振込明細照会など、  
さまざまな銀行機能をAPI化し順次公開中

## 免責事項

本資料には、将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。マーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また、本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おさください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。